

研究機関：広島大学

研究課題名	大腸菌血流感染症例のセフメタゾール感受性に関する検討
研究責任者名	広島大学病院救急集中治療科 医科診療医 難波 剛史
研究期間	2022 年 11 月 9 日(許可日) ～ 2023 年 3 月 4 日
対象者	2022 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日の間に、広島大学病院で採取された血液培養検体から大腸菌が検出された患者さん。
意義・目的	大腸菌血流感染症と診断された際に、経験的治療として ESBL 産生株にも有効なセフメタゾールが選択されうるのですが、Amp-C 産生合併など効果の乏しい株に注意が必要です。本研究の目的は大腸菌のセフメタゾール低感受性株の割合を調査し、ESBL 産生株との関連を明らかにすることで、抗菌薬使用の適正化を図ることです。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、転帰（30 日及び 90 日死亡の有無、病院内死亡の有無）、身長、体重、血液ガス検査結果、血液検査結果、入院後の経過、入院後の治療内容、培養検体から検出された大腸菌の薬剤感受性、ESBL 産生の有無です。 （個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	ありません。
試料・情報の管理責任者	広島大学病院救急集中治療科 医科診療医 難波 剛史
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5456 広島大学病院救急集中治療科 医科診療医 難波 剛史